

印刷(Print)に携わる人(Man)の会報です。

ピーマン5

ファイブ

2024
No.59

令和6年1月

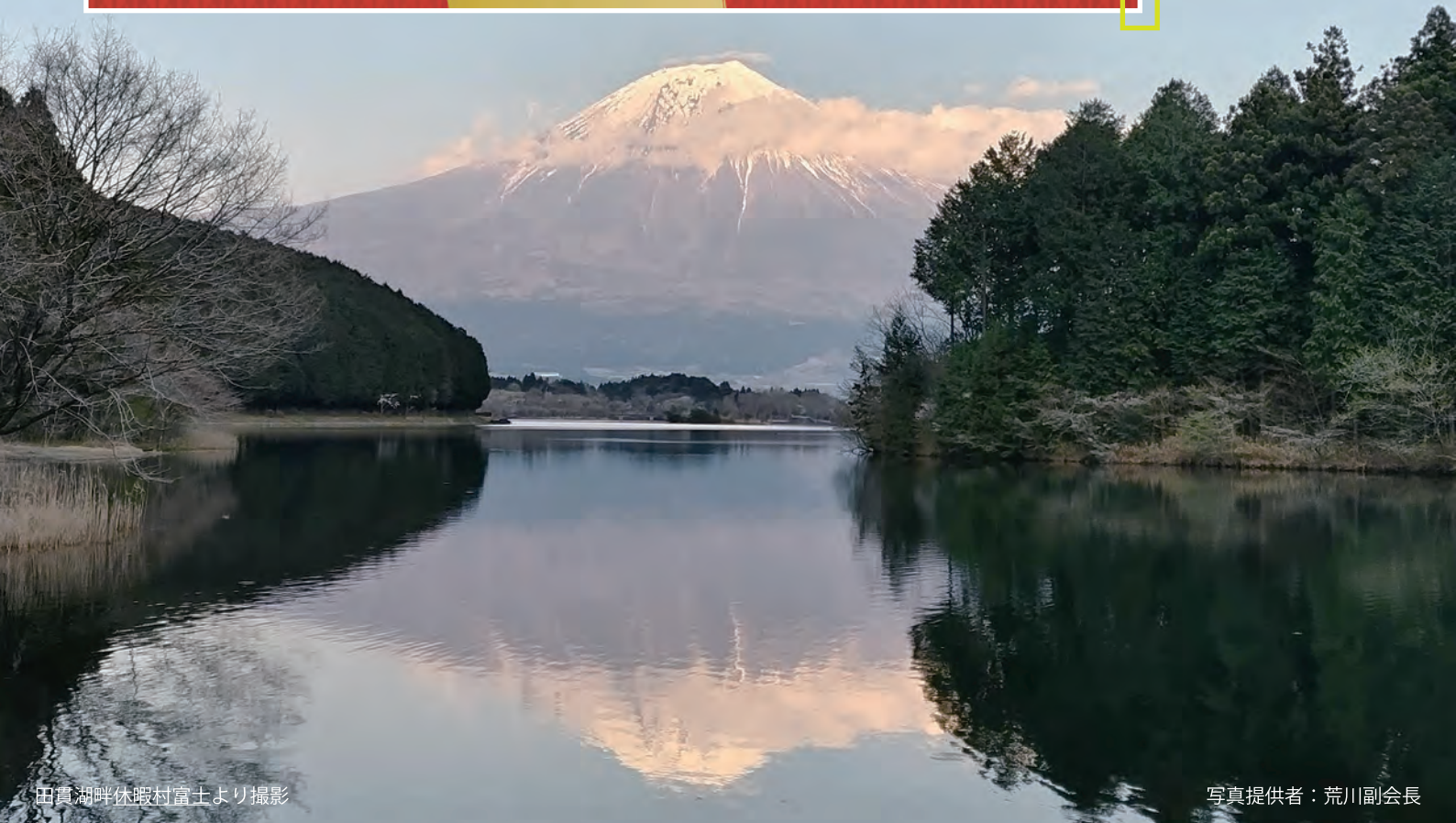
大阪府印刷工業組合・福島支部／大阪福島印刷工業会 会報

発行人／中川敏之

ファイブ

5つの地域が
調和して
業界の発展と
共存共栄を計る。

福島区・北区(旧大淀)
此花区・西淀川区
その他の地区



田貫湖畔休暇村富士より撮影

写真提供者：荒川副会長

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。旧年中は、大阪福島印刷工業会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスが、5類移行した春以降、行動規制が緩和され、支部行事・大印工組行事も以前のような形式で開催することが出来ました。総会旅行、健康診断、ビアパーティ、バーベキュー大会、班別懇談会、その間にも大印工組のセミナー等各委員会の尽力とご参加いただいた皆様ありがとうございました。各行事に参加され、支部会員や他支部の方々と交流し、情報交換、仕事の繋がりが出来たことも、多々あったのではないのでしょうか。

印刷業界においては、不安定な世界情勢、原材料、電気料金や運送費の高騰、人材不足等が景気を取り戻す障壁となつています。特に、物流に關しましては、2024年問題、郵便料金の改正に伴い、作業の短縮と効率化が求められます。生成AIをうまく活用することも一つの手段になっていくでしょう。

インボイス制度、電帳法が本格的に始まり、零細企業にとっては一歩一歩大変な状況に加えて、複雑な事務作業も増えていきます。このような状況で会社や組合活動を次代に引き継いでいくことは大変な労力が必要です。後継者がおらず、自分の代で廃業という選択を考えられる会員もおられることと存じますが、その時期を待つだけでなく多様な挑戦をし、その姿勢を見せていただくことを切望いたします。

私は、コロナに始まり収束までの4年間、会長という大役を務めさせていただきました。会員の皆様と役員各位には心から感謝しております。このイレギュラーな状況の中、何が正解なのか、何もしないことが安全というならば、組合は必要ないという考えの基、形を変えながら行事を進めることが出来、少人数でも集まりながら意見や情報を共有できたことは間違っていないかと自負しています。春からは違う立場で組合活動を支えながら会員の皆様と前を向いていきたいと存じます。

薄氷(うすらい)をそろそろこつて牛

支部、本部に關わらず行事に参加していただき、多くの人と接し、学び、成長できる場として大阪福島印刷工業会が発展していくことと皆様のご健康を祈念し挨拶とさせていただきます。

令和六年一月

大阪福島印刷工業会

会長 中川敏之

新年互礼会

令和5年1月20日(金)

令和5年新年互礼会を1月20日(金)にホテル阪神大阪に於いて正会員、賛助会員23名が集い開催しました。依然として新型コロナ禍のため、従来のような形で開催は出来ませんがパーティーション越しに話も弾んでいました。

午後6時より大島総務委員長の司会で開会し、中川会長が、参加いただいた会員に感謝と10月より始まるインボイス制度、さらには令和6年度からの電帳法に対しての準備や対策を整えていくよう述べました。続いて浦久保理事長の祝電が披露された後、大阪府印刷工業組合 山崎副理事長の乾杯で懇親会へと移りました。

前回は出来なかったお楽しみアトラクションは「マジシャン Yujii村上」を招き、クセの強さに一同戸惑いながら、



至ってシンプルなマジックショーを楽しみました。

ビンゴゲームでは、恒例の高級牛肉をはじめ、様々な景品に「リーチ!」、「ビンゴ!」の声にも気合が入っており、「もう、コロナはええ加減にしてほしい」という願いが強く感じられた新年互礼会となりました。

20時より本部分事、ものづくり委員会、



厚生委員、賛助会員から告知があり、早く新型コロナウイルスに関する政府の対応が変わることを切望する中、委員会で話し合っており楽しくメリットのある行事になるよう企画してもらっていることを大変嬉しく思いました。

荒川副会長の中締めで普通に集い、語り合えることの大切さと会員の健康と会の発展を祈念しお開きとなりました。



創業1960年 自信と誇りがあります

一冊も一万冊も、大切に…丁寧に…
私達は製本のプロフェッショナルです。
製本の事なら お気軽にお問い合わせください。

- “中綴じ・無線綴じ・Wリッジ綴じ・ループ綴じ”製本
DM折、特殊加工などの折加工
ポスター・チラシなどの断裁加工

有限会社 立花製本

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目6番12号 TEL 06-6458-2120 FAX 06-6453-8602
製本産業個人情報保護体制 S A P P S E-mail info@tachibanaseihon.jp
ISO認証取得 SO-27-0005-4 URL http://www.tachibanaseihon.jp

Total Information Solution
Keibunsha

「印刷業」から「情報加工業」へ

チラシ・パンフレット・カタログなど各種印刷物の企画制作から
アプリ開発まで、トータルにサポート致します。

株式会社 啓文社

URL : <https://www.kibunsha.co.jp>

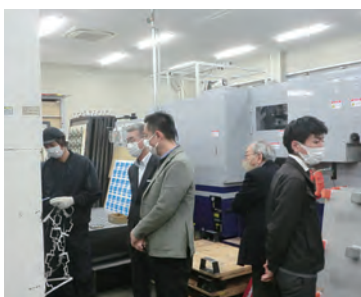
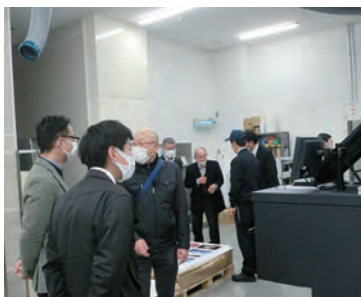
[大阪本社] 〒555-0023 大阪市淀川区花川2-14-14 Tel 06-6471-0431
[東京オフィス] 〒102-0084 東京都千代田区二番町9-3 Tel 03-6403-3962

令和5年2月18日(土)

令和5年2月18日(土)13時30分より東大阪市の作道印刷株式会社にて「ものづくり委員会」を行いました。作道印刷様はパッケージを主に製造されているお会社で、企業や団体、小・中学校の社会見学など幅広く工場見学を受け入れておられます。今回は工場見学1時間とセミナー1時間の内容で勉強会が実施されました。

まずは製版から後加工までワンストップの流れを見学させていただきました。トムソン工場では自動で面板を作成する機械を見せていただき、印刷工場の最新デジタル印刷機「ジェットプレス」や、後加工の貼り加工機など初めて見る設備が多く、中でも167の保管棚を有する自動倉庫には驚かされました。自動倉庫のリフトはエレベーターの役割も担っており商品の各階への移動が可能です。9年前に建て替えられたという社屋は、設備や導線も含め最適化された工場だと感じました。

工場見学のあとは同社で取り組まれている「見える化」について作道社長にご講演いただきました。「見える化」とは各部門のプロセスや損益を共有することで社員の意識改革を促し、収益の徹底的な強化を実現するものです。部門ごとのコストを下げるには、「時間」「コスト」の概念を理解することが重要です。制作部門における1日の制作額とコストの関係について、時間のムダを省き適正時間内での作業を目指すことによつて、損失がなくなり利益が発生する仕組みをご説明いただきました。印刷部門では印刷機ごとの加工高と費用の関係の中で、減価償却・労務費・材料費の内訳からなる印刷コストと見



積額との差が損益となることを明確に示され、月次だけでなく1日や1時間ごとの損益も管理されていました。いずれも時間コストを下げることにによる製造利益がはっきり見えるようになり、社員は「自分の給料を自分で稼ぐ」という意識を持って働くことができます。そして営業プロセスの見える化については、準備・アプローチ・情報収集・提案・クロージング・受注の6つのステージのプロセスそれぞれにゴールを設定し、訪問の目的をはっきりさせることで出来るだけ早く受注に到達することを目指します。最後にこれらのプロセス管理、損益管理の改善を支える公平な評価制度についてもご説明いただきました。社長による主観的な評価ではなく担当部署による客観的な評価を行い、不公平のない絶対評価が可能な評価制度です。評価のポイントとは、求める成果を数値で示すこと、自分で目標を立て面談などでよく話し合つて目標を設定すること、そしてどの程度実現しているかをチェックし双方納得の上で評価を決定することです。評価制度の見える化によつて、曖昧な評価ではなく査定の納得感や成果の達成感のある明確な基準ができました。目標達成の進捗が見えるようになり経営理念も浸透するようになったといえます。

セミナーを終え普段漠然としか問題を意識していなかったことが「見える化」されたようでした。今回勉強したことを自社に持ち帰つて実践していきたいと思えます。いきなりすべてを改革することは困難ですが、少しずつ変わっていくことが重要ではないかと思えます。

定期健康診断

令和5年6月14日(水)・15日(木)・16日(金)



6月14日(水)・15日(木)・16日(金)の3日間に分けて「福島健康管理センター」医療法人「健昌会」において行いました。

今年より35歳〜74歳の方の一般健診にバリウム検査が含まれ、協会けんぽからの補助金もあり5282円(税込み)で受診出来るようになりました。また、35歳未満の方及びパート・アルバイト社員の方は定期健診Bで6600円(税込み)です。

会場では身体計測・視力検査・聴力検査・血圧測定・胸部X線検査・胃部X線検査・尿検査・心電図検査・血液検査・診察等が行われました。

今回は43名(一般健診が38名、定期健診Bが5名)の方が受診しました。健康診断は、会社として社員が健康で働き続けるために1年に1度、受診させることが義務付けられています。これからも支部主催における健康診断を多くの方々が受診くださいますようお願い致します。

懇親旅行(小豆島)

令和5年5月27日(土)～28日(日)

令和5年定時総会・懇親旅行は5月27日(土)～28日(日)に香川県の小豆島にて行われました。

打ち合わせを重ねた旅行ではありませんでしたが定時総会も兼ねた旅行ということもあって厚生委員は緊張を抱えながら当日を迎えたように思います。

27日7時45分野田阪神駅前集合し、バスで岡山県備前市の日生港まで、ビールや酎ハイ、お茶などを楽しみながら向かいました。当初の予定では、姫路発の小豆島フェリーでしたが減便対象で欠航となり急遽日生港発のフェリーとなりました。日生港～小豆島大部港のフェリーでは、景色を楽しんだり甲板で風に当たりながら話をしたり和やかにすごしました。

小豆島に到着し、ホテルベイリゾートで昼食をいただきました。地魚を小豆島のお醤油で漬けた海苔丼、小豆島名産佃煮、小豆島手延べそうめん、海鮮鍋のコース料理(ひしお御前)をいただきました。昼食をホテルでいただくのほども贅沢で料理も美味でした。

昼食の後は、バスで「二十四の瞳映画村」へ向かいました。入り口付近に生け簀があり大きな魚が泳いでいました。奥に進むと学校や畑などの舞台セットがあり30分ほど見学しました。その後バスで「マルキン醤油記念館」へ向かいました。

マルキン醤油では、当時の建物の写真や製造工程、設備や備品などが多く展示されていました。帰り際に隣接されている物産館で醤油ソフトクリームをいただきホテルへ向かいました。

16時に小豆島国際ホテルに到着し定時総会を行いました。総会後は、1日2回

だけ干潮時に潮が引くと現れる4つの島をつないだ砂浜の道「エンジェルロード」を渡ったり、温泉に入るなどしてすごしました。また、夜にはビンゴ大会を行い地元のアートフェスティバルや手延べそうめん・醤油などの景品が配られました。

2日目は9時にホテルを出発し紅雲亭駅からロープウェイで景色を楽しみながら、寒霞渓へ登りました。前回、悪天候で見れなかった景色も見ることができ雪辱を果たせました。

「銚子溪おさるの国」では、時間外ではありましたが特別にモンキーショーを開いてもらえる運びとなり、おさるが逆立ちをして階段に上ったり竹馬でハードルを越えるなどの芸を披露してくれました。迎えに来ていたバスに乗り大部港からフェリーで小豆島をあとにしました。

日生港に到着し13時15分から1時間ほど昼食をとりバスで「備前長船刀剣博物館」へ向かいました。博物館では実際に刀鍛冶をされていた方に刀が出来上がるまでの工程や刀の種類などを説明していただきました。館内を周りまわりました。

15時30分に博物館からバスが出発し、18時頃に無事福島に到着し解散となりました。



ITでオフィスを元気にする

<https://www.otsuka-shokai.co.jp>

株式会社 大塚商会

東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

大正十二年創業
伝票印刷に心を込めて

今までも。これからも。

TANIGUCHI PRINT
OSAKA FUKUSHIMA MADE IN JAPAN

谷口印刷紙業株式会社
<http://taniguchi-print.co.jp>
〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲4-2-1
TEL:06-6458-0274 FAX:06-6458-0276
E-mail:k-tprint@ae.auone-net.jp

令和5年 定期総会



令和5年度総会

5月27日(土)・28日(日)に懇親旅行を兼ねた総会で小豆島を訪れました。参加者18名を乗せバスは福島を出発し、日生港から小豆島へ。15時30分「小豆島国際ホテル」へ到着。そのまま総会会場へ入り、大島総務委員長の司会で総会が開会しました。

初めに中川会長は総会旅行への参加のお礼を述べ、「やっとコロナが5類に移行し、活動の制限も解除されました。すべてはコロナ前に戻ることはございません。特に我々の業界を取り巻く環境は一気に10年進んでしまいました。この先は皆さんで有効な情報を共有し頑張っていきましょう。」と挨拶されました。その後、大阪府印刷工業組合 浦久理事長からの祝電が披露され、審議に移りました。

令和4年度事業報告(荒川副会長)、決算報告(山崎会計部長)、監査報告(小林監査役)、5年度事業計画(竹本副会長)、予算案(山崎会計部長)を審議いただき、無事承認されました。続いて、緑青会の事業活動報告、各委員会からの行事の告知があり16時30分に無事閉会となりました。

ホテル前の観光スポット「エンジェルロード」も満ち潮前に渡ることが出来、各自部屋に入り温泉で一息つきました。その後の懇親会では、久しぶりにビールを注ぎあい楽しいひと時を過ごしました。





第18回 懇親 Beer Party

令和5年8月3日(木)
世界のビール博物館

令和5年8月3日(木曜日)に世界のビール博物館(グランフロント)にて「第18回懇親ビアパーティ」が前年に引き続き開催されました。

今まではホテル阪神大阪で行われていた企画を、初めての試みとして当施設で行い、以前とは違う複数のビールの飲み比べを行いながら料理を食べ、少し違った懇親を深めよう事が出来ました。

また前年の開催が新型コロナウイルスによる3年間の開催見合わせを終えたばかりでもあり79名の方々のご参加となりましたが、今回は落ち着きを取り戻しつつあることから104名もの方々にご参加いただきました。その中には前回はお呼びできなかった他支部の方々もありました。

運営委員長の荒川副会長の開会の挨拶に引き続き中川会長の挨拶と乾杯により歓談の時間が始まりました。

今回はゲストをお招きせず、司会者をお願いした富田かな里さんに進行をして頂きました。

恒例の抽選会では協賛の方々にもご用意いただきました様々な景品を皆で笑顔で分け合い、盛況のうちに終了いたしました。

世界のビール博物館様のご協力のもとビアサーバーの前には少しの行列を作りながらも、大きなトラブルもなく無事に終えることが出来ました。

今後も福印工らしいビアパーティを開催出来るよう進めてまいります。



企画

印刷

加工

発送

OSHIMA PRINTING **Go to 100th** www.oshima-p.com

企画・デザインから印刷・製本・加工まで
印刷物全般 何でもお任せ下さい。コスト削減・短納期を実現!!
まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

大島印刷株式会社 〒554-0012 大阪市此花区西九条3-2-16
TEL 06-6462-0521 FAX 06-6468-3606

～ GF会 ～

令和5年度 第5回GF会を5月13日(土) 関西クラシックゴルフ倶楽部で開催いたしました。
新型コロナも5類相当に落ち着きをこれから安心してプレイできます。

当日は4組14名の方に参加いただきました。

天気恵まれ青空の下、気持ちよくゴルフを楽しみました。

今回は、飛ばし屋の田中さん(全版株)が優勝、2位は新しく社長に就任されました大中将寛さん(株啓文社)でした、おめでとうございます。

田中さんには賞金と錫製タンブラー(13,000円相当)を贈呈しました。

《結果》

優勝 田中 健一 (全版株式会社)

2位 大中 将寛 (株式会社啓文社)

3位 渡邊 哲清 (株式会社シオザワ)



令和5年度 第6回GF会を12月2日(土) オリエンタルゴルフ倶楽部で開催いたしました。
今回は欠席が多く、かろうじて4組14名の参加で行いました。

今回も天気に恵まれ青空の下、最高のゴルフ日よりでプレイすることができました。

プレイは天気のように行かないもので、タイトなコース、そしてグリーンに苦戦しました。

今回優勝は大塚商会の渡部さんでした。3位でしたがさすが西谷紙業の西谷さんベスグロおめでとうございます。

《結果》

優勝 渡部 英樹 (株式会社大塚商会)

2位 黒澤 泰裕 (株式会社シオザワ)

3位 西谷 章 (西谷紙業株式会社)



※GF会は福印工の会員、また賛助会員であればどなたでも参加できます。

年2回春と秋に開催致しますので奮ってご参加下さい！

令和5年10月28日(土)

ファミリーバーベキュー



10月28日(土)ファミリーバーベキューを去年と同じ「森とリルのBQワールド」にて、大阪府印刷工業組合の主催するバーベキュー大会に参加させていただく形で開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、10月の終わりではありませんが少し汗ばむ陽気で海側から吹く風が心地よくバーベキューにはもってこいの天候で大人20名、子供8名の計28名の参加をいただきました。

午前11時に集合し、入場の際いただいたそれぞれが飲みたいドリンクを手に福島支部の3つにテーブルに着席。大阪府印刷工業組合の方の乾杯でバーベキューがスタート。最初は少し緊張気味にしていた参加者の方もすぐに会話も弾み、美味しい肉や海鮮を堪能していました。特に海鮮は凄く量が多くサザエ、ハマグリなど醤油を垂らし大変美味しかったです。

途中、木の棒を投げてあらかじめセットされた木製のピンを倒し、点数を競う「モルック」大会があり、各支部より子供のチーム、大人のチーム、家族のチームなどが参加し、大変盛り上がりました。

また、最後に中川会長はじめ役員の方々が作った焼きそばが全テーブルに配られてお腹がいっぱい。

そして15時に解散となりました。お酒、バーベキュー、皆さんとの会話を堪能し親睦を深めた楽しい1日でした。



KAMIX
PAPER SOLUTION COMPANY

紙のチカラで
新たな価値の
創造に挑戦する

いつでも、どこでも、断裁品でも、即納が可能

- 毎週土曜日営業 (15時まで)
- 尼崎と高井田の2拠点体制 (断裁機6台、トラック9台)
- トップクラスの在庫量と豊富な端紙対応品

紙を活かした多彩な商品やサービスもご提供

- 多種多様な印刷、加工、デザインの外注手配
- 小ロットのアルバム上製本、バインダー製本
- 極小2次元コード印刷 (音声ペン教材、真贋判定)

高井田支店：〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通 6-2-10
TEL：06-6785-1036 / FAX：06-6785-1039

尼崎支店：〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町 2-1-21
TEL：06-6482-2701 / FAX：06-6482-2706

MOTOYA

いろいろなコトはモトヤにご相談ください!!

これから、皆さまと共に歩み続けるモトヤは、モノづくりを超えたコトづくりのご提案を続けます。

モトヤの環境対応資材

ECO no MIST

ECO no MISTは、消耗品による環境改善を実現します。

そして、「環境」と「価値」を考える印刷資材

ECO no MIST(エコノミスト)でSDGsのゴールの実現に協力していきます。

大阪 530-0038 大阪市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)
東京・横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

株式会社 **モトヤ**

《1班・2班》

11月24日(金)18時30分より1・2班の合同班別懇談会がかに道楽梅田店にて9社の参加で開催されました。令和3年、4年はコロナ禍で福島支部全社集まっていたいただきましたが、今年から2班ずつ、少人数でじっくり話をする以前のスタイルに戻しました。

1・2班担当の荒川副会長の司会で初めに中川会長から「新型コロナが5類に移行され制限が緩和されました。以前のように親しく会話しお酒を酌み交わすことができる反面、ウイルスが撲滅したわけではございません。年末、新年に向けて体調管理をお願いします。本日は少人数でゆっくり、じっくり話することができますので楽しみにしています。」と挨拶されました。乾杯は賛助会員(株)シオザワの塩澤支社長にお願い、懇親会が始まりました。

取り組んでいることでは「経理を見るために簿記を勉強し始めた」「世界の状況から戦争の無い日本、それだけでも幸せだから頑張れと社員にハッパをかけている」「ビジネスホテル、インバウンドに向けた商品開発をしているがこの部分で困っている」「うち、紹



介できますよ!」とあっという間に問題解決する場面もありました。お酒が進むと「もう定年だが、内勤で雇ってもらえている。うちの社長はいい男や」と本音を語る方もおられ、皆さんの頑張りを頼もしく感じた懇談会でした。



《3班・4班》

12月8日(金)18時30分より「かに道楽梅田店」において3班4班の班別懇談会が開催されました。

今回新入会員の(株)レスタス様、賛助会員の(株)大塚商会様が参加され11名で和やかな雰囲気の中中川会長より「福印工ならびに緑青会の企画により多くの参加をいただいて盛り上げていきましょう。また新しい事への取組を大切にしていきたい」とご挨拶をいただき懇談会が始まりました。

おいしいカニやお酒をいただきながら、皆様の近況報告・フリートークでは材料費の値上がりに対する各社様の状況や対応について、また価格競争への対応などの真剣な意見交換がされたり、新しく機械や設備を導入するにあたり「未来に向けて私達が経験したことを若い人達に伝えていきたい」といった熱のこもったお話もいただきました。また、新しくご参加いただいたレスタス様の業務内容などに話題が広がりました。

もちろん宴もたけなわになるとプライベートな出来事に話が盛り上がり一層活発な意見交換??に花が咲



き「阪神タイガース」や芸能人の話題にまで広がり楽しい時間を過ごし中締めを迎える事となりました。店を出てエレベーターで外に出ると、12月のにぎわいを感じられるなか、お開きとなりました。



～大青協だより～

第三の居場所

谷口印刷紙業株式会社 谷口 和宏

入会から5年が経ち、大阪青年印刷人協議会（大青協）は私にとって職場とも家庭とも異なる第三の居場所となりました。以前は会社と家を往復するだけの生活を送っていましたが、それはそれで充実していたと思います。当時は子どもがまだ小さく、プライベートな時間のほとんどを家族と過ごしました。30歳で家業に戻って来たばかりの頃は印刷の仕事覚えるので精一杯で、組合の活動や経営の勉強について考える余裕はありませんでした。福印工の行事には父が参加し、私は緑青会の研修旅行と忘年会だけ出席しており、無理なく活動することができていました。

大青協1年目は右も左も分からず毎月の定例会に参加し行事の手伝いをしていましたが「近畿ブロック協議会」という近畿を中心に全国からも若手経営者が集まる勉強会で司会を任されたあたりから、大青協に参加している意味が分かってきたように思います。この勉強会は4時間の長丁場で、司会をやるのは初めてのことでしたのでどうなることかと思いました。進行台本をもらってから本番までの1週間は毎日練習したのですが、学生時代の受験勉強か部活の練習以来に集中して何かに打ち込みました。当日は自分でも驚くほど落ち着いており、参加者やメンバーからも好評で私も大青協の一員として認められたのかなと実感することができました。勉強会の内容は事前に何度も台本を読んで予習していたためとても理解しやすく、司会の傍らでグループワークにも参加させていただき、同年代の経営者と勉強することの楽しさを感じることができました。司会にしても勉強にしても、こういうことをするために大青協に入っているのだと思いました。

2年目以降は副議長に選ばれ主軸として活動することになります。まだまだ経験の浅い状態ではありましたが不思議と私の存在感は高まり、大青協以外での勉強会やプライベートでも遊びに誘われることが増え



ました。今では私が声をかけて年の近いメンバーで定期的に集まったりもします。それは「同年代の経営者とつながる」ことがこの上なく楽しく、会社を続けていく上でとても重要だと認識しているからです。仕事や経営について相談できる、一緒に勉強したり遊んだりできる、そんな人脈が私にとって宝物になりました。

昨年の近畿ブロック協議会は和歌山で開催しました。初日は協議会として勉強会と懇親会を行い、2日目はエクスカッションとして和歌山の市内観光とバーベキューを行うという、勉強と遊びを組み合わせた大青協らしい企画でした。中でもバーベキューは海辺の施設を貸し切って、気の知れたメンバーで過ごす最高の時間となりました。

最後になりますが、いつも大青協の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



新入会員紹介

大阪福島印刷工業会は今年度下記の新入会員を迎える事が出来ました。
今後ともよろしく申し上げます。

株式会社 レスタス

代表取締役 大脇 晋 様

〒531-0076 大阪市北区大淀中4-12-20

TEL 06-4400-5420



お悔やみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

秀野紙工株式会社 代表取締役 多田義昭様 ご逝去

(令和5年1月19日歿)

新進社印刷株式会社 会長 岡本英男様 ご逝去

(令和5年5月17日歿)

倉田印刷株式会社 倉田正治様 ご母堂 房子様 ご逝去

(令和5年10月14日歿)

総務だより

(令和5年 役員会・委員会・全体会議報告)

2月 2日(木)	三役会	かごの屋	6名	ものづくり委員会セミナー、ピーマン5広告など
3月23日(木)	三役会	さと御幣島店	6名	全体会議、令和4年度決算、令和5年度予算案など
4月25日(火)	全体会議	ホテル阪神大阪	14名	総会など
6月20日(火)	三役会	世界のビール博物館	5名	ビアパーティ、健康診断など
7月13日(木)	三役会	さと御幣島店	5名	ビアパーティ、ファミリーバーベキューなど
9月 5日(火)	三役会	さと大和田店	6名	班別懇談会、全体会議など
10月19日(木)	三役会	さと御幣島店	5名	全体会議、会長推薦承認委員会、班別懇談会など
11月 9日(木)	全体会議	ホテル阪神大阪	15名	本部委員会、支部行事報告など
12月19日(火)	三役会	丸一鮓	5名	ピーマン5、新年互礼会など

緑青会コーナー

日頃より緑青会の活動にご協力、ご参加頂きありがとうございます。
今年度は、コロナウィルスの影響も無くなり東和支部の勉強会に参加するなど新たな活動も行う事ができました。
今後ともご支援、ご協力、ご参加宜しくお願いします。

研修旅行記

今回は令和5年7月1日・2日の2日間で長崎へ12名で研修旅行に行ってみました。

午前7時に伊丹空港に集合しました。目的地の長崎が大雨により飛行機の着陸が出来るか分からない状態でしたが、なんとか飛ぶ事ができ長崎空港に到着する事が出来ました。

長崎空港に到着後はイルカウォッチング・島原観光を予定していましたが大雨によりイルカウォッチングは中止になり予定を急遽変更し平和記念公園・出島を観光しました。

平和記念公園の原爆資料館では過去の悲惨な被爆体験等を学び、同時に戦争の残酷さ平和の大切さを考えさせられました。

浦上天堂は原爆資料館で被害状況に関する展示を拝見した後に訪問した為、感慨深いものでした。

昼食は原爆資料館の近隣の店舗で長崎名物のちゃんぽんや皿うどんを食べました。



午後からは出島まで移動し鎖国時代の出島での生活や歴史について学び、小さな島から日本各地へ色々な西洋の文化が発信された事など非常に勉強になりました。

早めにホテルにチェックインをしてカステラ等の家族へのお土産を買った街を散策して夕食まで思い思いの時間を過ごしました。
夕食は中華街の「王鶴」にて行い初

の参加者も多かったので改めて自己紹介を行いました。食事後も夜遅くまで杯を酌み交わし懇親を深める事が出来ました。

2日目は旅行のメインでもある軍艦島クルーズでした。天気は晴れており湾内は波も無く上陸出来るのではないかと話していましたが沖合の波が長崎市より上陸許可がありませんでした。

軍艦島の隣の島である高島で一度下船し資料館を見学しました。高島はトマトでも非常に有名な島でトマトを使ったお土産も多くありました。

高島を出発し軍艦島に向かいました。波がかなり高くかなり揺れました。

周囲1・2キロと小さな軍艦島には高層の鉄筋住宅や学校が立ち並び最盛期には5千人以上が住み世界一の人口密度とも言われていたそうです。世界遺産の軍艦島の栄枯盛衰を感じる事が出来ました。

昼食を各自で済ませグラバー園へ向かいました。高台の上であり長崎の港湾がよく見渡せました。
グラバーの日本での活動や生涯につ



いても学ぶ事ができました。
見学後はバスにて長崎空港に向かい伊丹空港にて解散となりました。

令和5年度活動報告

4月 総会
7月 研修旅行(長崎 平和記念公園・出島・軍艦島)
8・11月 東和塾勉強会
12月 忘年会
令和6年2月 ものづくり委員会セミナー(予定)